

議会を傍聴 しませんか？



次回の定例会は6月に開催予定です。
議会の雰囲気を感じ、一緒に考えてみませんか？

【令和8年第2回定例会日程（予定）】

6月	4日（木）	招 集 日
	8日（月）	一 般 質 問
	9日（火）	一 般 質 問
	12日（金）	最 終 日

※日程は変更になることがあります。

一 般 質 問

これでいいの？

町 政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。

一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では9人が登壇しました。

掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。

QRコードから各議員の質問の映像をご覧ください。

また、会議録もホームページでご覧いただけます。

YouTube
(議会トップページ)



会議録



耐震度 A ランク
壊せば多額の費用と「ごみ」
まだ使えるのでは

問 現状のまま使用が可能か。同窓生・坂下にとって大切なシンボル、再利用して残すべきでないか。

答 用途によっては困難であり、特に図書館機能には相応の改修が必要となります。

問 特に図書館機能の広域化には周辺町村との合意形成等、慎重な協議が必要か。

答 重要な提案であり意義があるものと受け止めます。まちづくりを進めるうえで、可能性を有する資源と認識しております。

問 会津西部の図書館や蔵書館、各種団体の複合施設としてはどうか。



いがらし かずお 議員
五十嵐 一夫

複合施設としての活用は
旧坂下高校の跡地再利用を
取壊すか残すか、利用も未定です



このも質問
関広域圏からの供給用水の値上げへの対応は。

答 「必要に応じて計画期間内でも適宜見直しを検討」と実施計画に明記されており、柔軟に調整できる仕組みとなっております。

問 坂下と他町村を結ぶ路線の変更。会農高生の利便向上等のため実施とのこと。町内の現利用者の利便について検討したのか。

問 町外とのバス3路線変更の考えは通学と商業施設利便を図ります

答 校舎および施設利用の具体的な方針はあるのか。
令和8年度を目標に方針を決定してまいります。

問 循環型社会、資源の再利用の観点から、校舎を壊すのか、残すのか。

答 総合的に判断することが不可欠であり、結論には至っておりません。



たかく 高久 としあき 敏明 議員

「らしざぎ」を町のブランドに
強みをどのように生かすのか
「発酵のまち」をキーワードに
発信してまいります



問 「らしざぎ」でまちづくりを推進するため、ブランドイメージを向上させることが重要と考えるが、町の見解は。

答 「ブランド戦略による町ブランドの確立」とは、本町が持つ魅力が他地域と差別化され、町内外から評価されることを意味するものであります。ブランドイメージを向上させる取組は、地域への愛着や誇りである「シビックプライド」をより強固なものにし、持続的な成長へ繋がるものと考えております。具体的な取組としては、「発酵のまち」をキーワードにブランドイメージを展開したいと考えております。



9月初開催「会津坂下発酵祭」

横断的な課題解決のために
組織の見直しに取り組んでまいります

問 一つの部署では解決できない課題が多くなっており、それらに対応していくために組織改編の必要があるのではないかと。

答 多くが一つの部署だけでは対応が困難な課題であると認識しており、新たな組織の新設や関係部署等によるプロジェクトチームの立ち上げなど、より全庁的、横断的に取り組んでおります。今後、より連携するために職員の人材育成にも努めてまいります。

これも質問
岡町のイメージキャラクター「パンビー」刷新の考えは。



いがらし まさやす 五十嵐 正康 議員

発酵文化を育てるために
食文化・産業・観光振興の
推進体制は
「ばんげき、はっこう！」を合言葉に進めてまいります



問 100年フードに認定された高寺芯そばの支援内容は。「高寺芯そば」が「未来の100年フード部門」に認定されました。

答 「高寺芯そば」が「未来の100年フード部門」に認定されました。「会津坂下町そば振興委員会」の活動内容などを広く発信し、ブランド化を目指すと共に、後継者育成も含め町を挙げて支援してまいります。

文化庁公認！
食文化「未来の100年フード」認定
「高寺芯そば」は伝統的な職人技でなく、
「未来の食文化」を目指して認定を受けました
期の特産品「山椒そば」は伝統部門認定

新しい蕎麦の誕生秘話
40年前、蕎麦職人の職人たちが
探求を続けた
めどしの新しい加工材料のような
十割蕎麦をつなぎ
そのために蕎麦の中心「芯粉」だけ
を贅沢に使う方法を伝承
日本蕎麦大博覧会において「職人技
55%以下で製粉しています

高寺芯そばの「五つのテーゼ」
1. 手打ちである事
2. そば粉100%で
3. 製粉歩合55%以上
4. 会津産玄麦使用
5. 湯ごけの技を用い

会津坂下町
高寺芯そば
蕎麦の中心「芯粉」だけで打つ
極上の十割手打ち蕎麦
つなぎ一切不使用
未来の100年フード部門
認定いただきました



A1活用の方角性は
徐々に環境を整備してまいります

問 庁舎建設とDX推進という並行した課題を如何に克服していくのか。

答 新庁舎建設はDXを一気に進めることができる最大の好機であり、一体的に進めるべきと考えております。DXの推進においては、全庁的にベースとなる事務処理の見直しや、スムーズな窓口業務の改善、ネットワークの見直しなどに取り組み、新庁舎では業務が滞ることなく、質の高い行政サービスが提供できるよう進めてまいります。

これも質問
岡発酵文化振興エリアを設定しての観光開発・市街地商店街再開発も可能なのではないかと。



問 鳥獣対策実施隊の任務内容と今後の在り方は。

答 大型獣の出没増加により人身被害防止策も任務の一つとなり、大きな負担となっていると認識しております。特に緊急銃猟については意見交換を重ね、町の判断での実施、事故等の責任の所在は町が負うといった負担軽減や出動手当の改定、装備品の充実等安心安全な環境を整備してまいります。



おぼたひろし 議員
小畑博司

守るものは人命へシフト
鳥獣被害対策実施隊の負担軽減策は
手当の改定や装備品の充実を図ります

映像はこちらから↓

これも質問
岡各集落での除雪に対し、互助・共助を支える考えはないか。
岡再生産費を基にした生産者米価を、わが県でも推し進めるよう進言せよ。

問 農福連携進化の考えは

答 現場理解・人材育成が必要不可欠と考えております

問 これまで以上に町が関与すること、町の魅力を高めていければと思うがいかがか。

答 オリジナル商品開発による地域農業・コミュニティの活性化等、新たな価値を見出せる可能性を秘めています。

農業と福祉双方の現場理解、マッチングや販路拡大等を担う人材や事業者の育成が必要不可欠であり、先進的事例を参考にしながら進化の形を模索し、誰もが安心して暮らせるまちづくりの実現につなげてまいります。

現場理解・人材育成が必要不可欠と考えております



いがらしたかこ 議員
五十嵐孝子

風通しのよい組織づくりを
職員へのハラスメントを防止する仕組みづくりの考えは
対応方針の策定などを行ってまいります

映像はこちらから↓



問 最近、首長や議員による行政職員へのハラスメントが社会問題となっている。町長はこの現状をどう捉え、職員の安全・安心を守るためにどのような仕組みが必要だと考えるか。

答 ハラスメントは単なる「注意喚起」の問題ではなく、組織の危機管理として捉えております。職員を守る仕組みづくりが重要であり、今後は組織的な対応方針の策定や、専用の相談窓口の設置、職員研修などを行ってまいります。

問 職員からハラスメントの相談や通報があった場合の相談窓口は、どこでどのように対応しているか。

答 職員に関するハラスメントの相談は、役場内部では総務課行政管理班が窓口となっております。外部では、福島県人事委員会内にある公平委員会において受け付けております。プライバシーの確保に努め、相談された事案の状況を正確に受け止め、秘密保持を図ることが重要であると認識しております。

これも質問
岡高齢者への訪問給食サービス事業の詳細は。

五十嵐孝子議員の辞職について令和8年3月11日付で議員辞職が提出され、許可されましたのでお知らせいたします。



よこやま ちよ 議員
横山 智代

**農業女子の輝く場を
さらなる拡大への取組は
関係機関と連携し、さらに輝け
る場を創設してまいります**

映像はこちら
から↓



問 家族農業に占める女性の役割は大きいが、町の「農業女子」への取り組みはどうなっているのか。

答 今年は国連の定める「女性農業従事者の年」であり、女性は食料システムにおいて重要な役割を担っています。本町においても、女性独自の視点や感性、明るさは地域農業の活性化に必要不可欠です。特に商品開発やSNSによる魅力発信などで活躍が期待されます。本町でも、農業を職業とする女性が増加しており、新たな風を吹き込んでいます。今後も先進事例を参考に、関係機関と連携しながら、女性農業者がさらに輝ける場を創設してまいります。



ゼロカーボンシティを宣言する考えは

**2050年までの脱炭素化を
目指し、次年度の宣言を考え
ております**

問 町のごみ減量化、リサイクル推進事業の進捗状況、効果と問題点は。

答 町では平成7年から資源物の分別収集、平成22年から有料化を行っており、家庭系可燃ごみの一人1日あたりの排出量は令和6年度の実績値では492グラムとなっており、10市町村の中で少ない方から2番で、成果を上げていると捉えております。問題点として、再利用できるプラスチック類や古紙類などが混入している実態があること、リサイクルとして出せるものや、その状態の理解が不十分であることなどが挙げられます。誰もが一目でわかるよう写真やイラストを使って示すなど、一層成果を上げられるよう取り組んでまいります。



めくろ かつひろ 議員
黒目 克博

**ごみ焼却施設の新設に伴い
ごみ減量化とリサイクル
推進の取組は
町民の理解と協力を得て実施してまいります**

映像はこちら
から↓



問 ごみ減量化のための考えと町民に対する周知方法は。

答 ごみ減量化は、3月に本格稼働した会津若松地方広域市町村圏整備組合の新ごみ焼却処理施設が、将来の人口減少を想定し、処理能力を縮小したことから、可燃ごみの減量とリサイクル率の向上を高めたいと考えています。また資源物の分別については、適切な選別方法を、写真や動画・イラスト等で容易に判断が付くようなガイドブック等の作成のほか、町ホームページ・ライン等のSNSを活用した方法を充実させて周知を図ってまいります。

企業誘致推進・雇用促進の事業取組は

**多様な企業に対する幅広い誘
致活動を展開し、企業誘致の
実現に努めてまいります**

問 誘致活動の取組と、雇用人材確保支援と考えは。

答 本町の企業誘致の取組は、未活用土地や空き工場を企業誘致に進める上で、極めて有効な地域資源と位置づけ、企業進出に関連する照会があった場合は、随時該当物件の情報を提供し交渉を実施しております。町内企業における雇用確保支援としては、合同企業説明会・企業見学会等の実施対象者を、新卒者だけでなく即戦力となり得る経験者にも拡大し実施しております。また今年度より雇用促進事業と移住定住支援を一体的に実施して、移住希望者に町内の企業を紹介する取組を開始し、既存企業も含め地域全体としての人材確保に努めております。

これも質問

固町営住宅管理の今後の運営は。
固町産業と観光事業の取組は。



初市 大俵引きの様子

問 参加人数を増やすための案はあるか。

答 魅力的な祭事があるという事は、まちなかの賑わいの創出や交流人口、関係人口の拡大など、まちの活性化に直結する重要なものであると認識しております。中でも「初市」「御田植祭」「秋まつり」は、昔から開催されている伝統的な神事であり、まちも観光資源として活用させていただいております。少子化や高齢化などによる人口減少に伴い、これまでと同様の規模等で実施するには担い手が不足しているという課題も出てきており、今後も祭事を継続して開催していくために、伝統を守りつつも、時代に合った内容や運営方法を模索します。



旧坂下高校跡地

問 これからどうなる旧坂下高校跡地

答 まだ具体的な結論はありません

問 町由来の著名人の記念館として利用できるか。

答 旧坂下高校校舎を大規模改修し記念館とする案につきましては、県補助制度の活用可能性はあるものの、建物規模や老朽化の状況を踏まえると、相当の財政負担を伴う事が想定され、現時点では、活用を図ることは容易ではないと考えております。顕彰の在り方につきましては、中央公民館など既存施設での企画展示、デジタルアーカイブ化を取り入れてまいります。



もえ 物江 まさひろ 議員

まちの活性化

祭事を盛り上げるには

今後も伝統を守りつつ、時代に合った運営をしていきます

映像はこちらから↓



問 真宮工業団地と隣接している当町の敷地内もしくは49号線沿いに工業団地造成の考えは。

答 企業の多種多様なニーズに加え、膨大な初期投資が必要であること、近隣自治体の産業団地と競合した売れ残りによる「負の財産化」等が懸念されることから、現在、造成する考えはございません。

問 既存敷地内での建て替えが難しいと思われる企業が見受けられる。また、近年の円安傾向の影響により、製造業の国内内製化が再評価されはじめている中で、工業団地造成をどのように認識しているか。

答 企業誘致を有利に進めていく上で用地確保は重要な交渉材料になり得ることから、進出企業に沿ったオーダーメイドによる民間開発を基本として進めてまいります。



さとう そうた 議員

産業振興のために

企業誘致の成果は

相談は増加しておりますが誘致には至っておりません

映像はこちらから↓

問 ふくしまDCに関連する経済効果は

答 3,600人を目標とし、約2,300万円の経済効果を見込んでおります

問 ふくしまDCにかかる町の誘客の取り組みは。

答 発酵文化や発酵の魅力を発信するイベント「会津坂下発酵祭」、町の観光地を巡る「会津ばんげまち歩き」、本町出身の漫画家である高橋ヒロシ先生の作品「クロウズ」とコラボした「デザインマンホールスタンプラリー」などを予定しております。

※DC（デステイネーションキャンペーン）は、JRGグループと自治体・観光事業者が連携して行う、日本最大級の観光プロモーションキャンペーンです。

これも質問

園只見線を活用した広域の取り組みは。

園一人暮らしを含めた高齢者世帯の現状と支援策は。